

研究課題名	担がん患者におけるがん免疫微小環境と宿主免疫応答の解析
研究責任者名	大学院医系科学研究科 分子内科学 教授 服部 登
研究期間	2019年12月22日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日

対象者は以下の全てを満たす患者さんです。

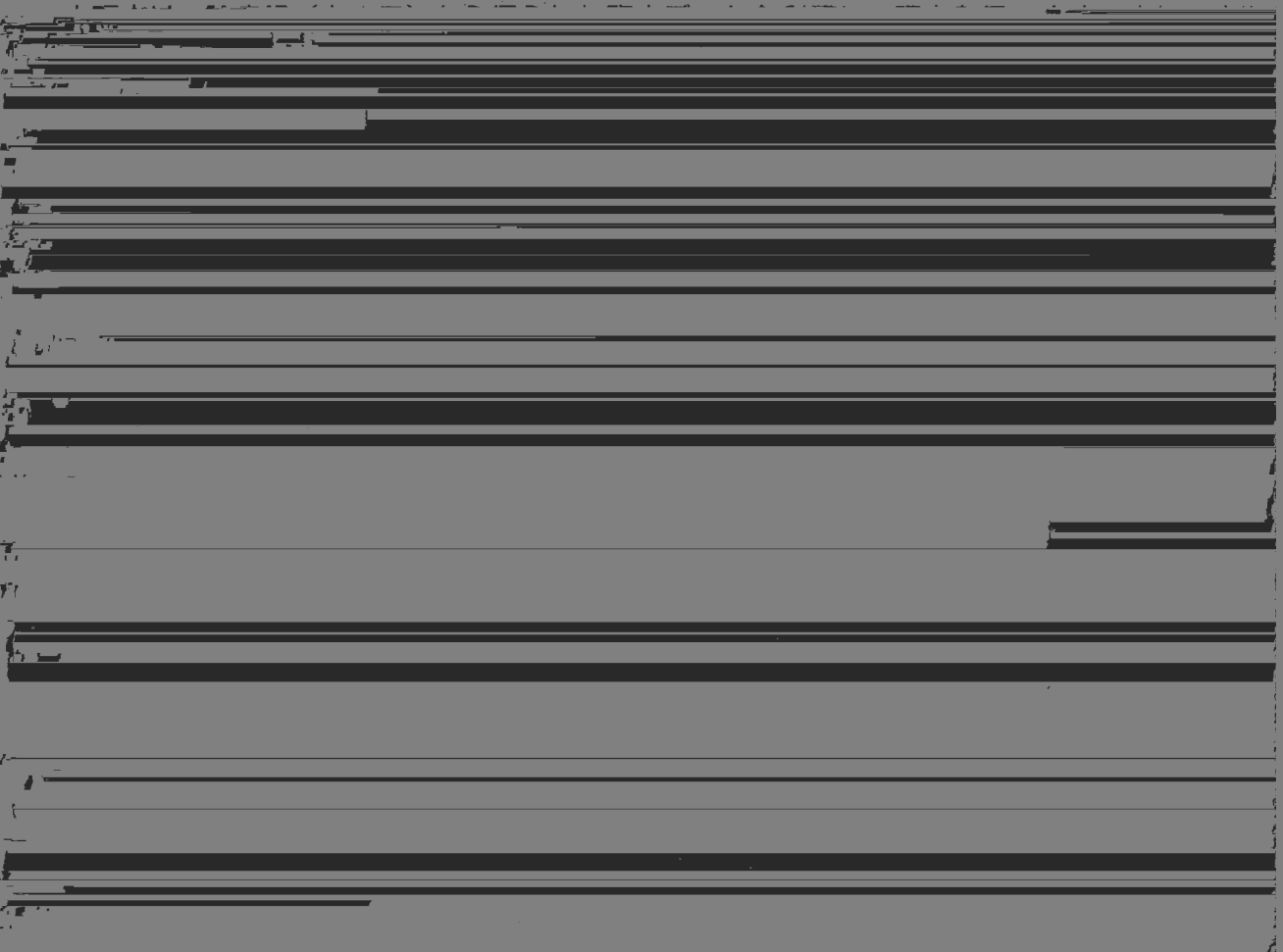
1. 2015年4月13日～2021年3月31日の間に、組織学的に非小細胞癌の診断が得られ、免疫療法投与を受けた患者さん
2. E 疫-M326-12「呼吸器疾患における血液バイオマーカーの臨床的有用性に関する研究」に同意された患者さん

意義・目的

がん細胞には、がん細胞だけが出している（発現している）“腫瘍抗原”、または“がん抗原”というものの存在がわかっています。また、がん患者さんの体内で、この一部のがん抗原に対して免疫反応が起こることもわかってきました。免疫療法は、かつてはこの免疫反応全体を上げるための治療薬の開発が中心でしたが、1990年以降は、がんが発現している“がん抗原”をめがけて、がん細胞だけを傷害できる免疫反応を高めるとい治療薬の開発に目が向けられるようになりました。

この研究では免疫反応を調節しているメカニズムを検証し、新しいバイオマーカーを確立することを目的にしています。

方法



北里大学メディカルセンター（福山隆）

産業医科大学病院呼吸器内科（矢寺和博）

国立病院機構嬉野医療センター呼吸器内科（中富克己）

呉共済病院呼吸器内科（河瀬成穂）

産業医科大学若松病院呼吸器内科（吉井千春）

佐賀大学医学部附属病院呼吸器内科（荒金尚子）

宮崎大学医学部附属病院呼吸器内科（松元信弘・中里雅光）

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 呼吸器内科 教授 服部 登

試料・情報の他機関への提供および提供方法

川崎医科大学（研究責任者 岡三喜男）に試料・情報を集め解析します。

その際、個人を特定可能な情報は提供しません。

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に臨床データや試料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出い